

# りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙  
第175号  
7  
17. .24

表紙  
・みんなでつくる明るく前向きな電気

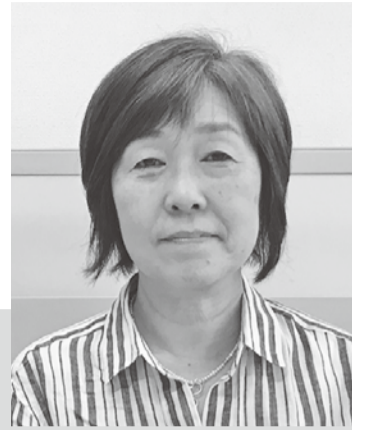
P3  
・活動報告 中井製茶訪問交流/じゃがいも収穫交流  
・サークル紹介 地場野菜

P2  
・生活クラブの新たな挑戦「生活クラブでんき」

P4  
・私たちのエネルギーを考える!  
・エコロ給付状況報告  
・子育てひろば案内  
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

## みんなでつくる 明るく前向きな電気

2016年4月から電力の全面自由化が始まり、電力会社を自由に選ぶことができるようになりました。生活クラブでは脱原発・エネルギーの自給・CO<sub>2</sub>排出量削減のために、省エネをすすめ、自然エネルギーをつくり、自然エネルギーを選んでつかう取り組みをすすめています。そのために「(株)生活クラブエナジー」を設立し、昨年10月より「生活クラブでんき」の共同購入をスタートしました。  
(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



### 中本 式子さん

生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ  
脱原発委員

### 高岡 敦子さん

生活クラブ生活協同組合都市生活  
常任理事  
住吉川小水力発電所を実現する会  
会長

#### 組合員の行動力

泉 「生活クラブでんき」の共同購入が始まり、もうすぐ1年が経ちます。どのような活動をされていますか。

高岡 生活クラブで自前の発電所を増やそうと考えていた時に、都市生活の組合員で「地域小水力発電(株)」の古谷桂信さんから、六甲山系の住吉川で小水力発電所をつくらなにかという話をいただきました。兵庫県から現地調査に助成金をいただけることになり、近隣組合員で「住吉川小水力発電所を実現する会」を結成しました。住吉川周辺は、江戸時代より精米や製粉のための水車小屋がたくさんあり産業が盛んなところでした。その頃の歴史を大切にしている住吉歴史資料館でも、跡地を現代に蘇らせるという私たちの取り組みをとっても喜んでいただいています。発電所ができて「生活クラブでんき」を使える

のは生活クラブの組合員だけですが、地域の発電所として「地域協議会」を結成し、収益の一部を還元する予定です。現地で森づくりに取り組む兵庫県勤労者山岳連盟にも、計画に理解と協力をしてもらっています。

中本 京都エル・コープでは原発に関する学習会や上映会をたくさん企画しています。私も参加するうちに原発に反対してこういう気持ちが高まり、京都エル・コープの自主委員会「原発事故を考える会」に参加しました。何か自分たちでできることはないかと模索し、組合員から出資を募り500万円を集めて京都エル・コープのセンターに太陽光パネルを設置し、電気をつくっています。

泉 積極的に活動されているおふたりですが、その行動にはどのよう  
想いは  
みんなと変わらない

うな想いがあるのでしょうか。  
中本 3・11福島第一原発事故は衝撃的でした。誰もが原発はダメだと実感したと思います。日本にある原発全基が次々停止し、このまま原発はなくなるだろうと思っていたのに、翌年に福井県の大飯原発が営業運転を再開したことは本当にショックでした。

「(株)生活クラブエナジー」の設立は涙が出るほどうれしかったです。原発に反対する運動から、電気を買うという前向きで明るい運動に変わったからです。「生活クラブでんき」を買うことで原発をなくすことができます。

高岡 使っていた薬用せっけんでひどい手荒れが続いていたのがきつかけでせっけんを使い出し、すっかり手荒れが治りました。都市生活に加入して、せっけんや化学物質、遺伝子組み換え問題などを勉強するうちに生活スタイルが一変しました。せっけんを入りに環境全体が気になるようになりました。より良い食材を自分たちの手で作ってきたように、電気も自分たちで自給できることはずばらしいと思います。私も昨年10月から「生活クラブでんき」を利用しています。ワクワクしながら迎えた切替日、これまでと同じいつもの電気でした。でも確か

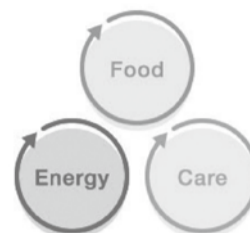
にこの電気は「私が選んだ私の電気だ!」と思い、素敵な気持ちになりました。  
泉 積極的に活動されるおふたりですが、それは特別なことではなく、想いはみんなと変わりはないとあらためて実感しました。「生活クラブでんき」を契約することで、電気代はそのまま、脱原発をめざし、温室効果ガスのCO<sub>2</sub>排出量も削減できる再生可能エネルギーが広がっていきます。「生活クラブでんき」に切り替えることで、私たちの未来を大きく変える一歩をみんなで踏み出していきたいです。  
※関西電力の従量電灯A、Bと同じ料金設定です。関西電力の夜間割引などを契約している方は電気料金が高くなる場合があります。



すでに約1万人の  
組合員が  
契約しています

# 生活クラブの新たな挑戦 「生活クラブでんき」

生活クラブは原材料や生産方法が明らかな「食べもの(Food)」を手にするために食材の共同購入をおこなっています。また、地域に根ざした「福祉(Care)」が必要と考え、組合員どうしのたすけあいや子育て・介護の支援活動をおこなっています。そして新たに、次の世代へ持続可能な社会を手渡すために、再生可能な自然「エネルギー(Energy)」による電気の共同購入をスタートしています。



FEC自給ネットワーク  
FECの自給・循環できる  
地域をつくり出し、サス  
ティナブルな社会の実  
現をめざします。



## スタートして1年、4月は自然エネルギー100%の電気を供給できました!

電力会社を選ぶ際には、料金設定だけでなく、供給される電力がどのように発電されたかを知ることが大切です。「生活クラブでんき」では、太陽光や風力、小水力発電所の自前建設とともに、市民共同発電所やパートナー会社とも連携し、自然エネルギーを中心に供給しています。さらに、電源構成を毎月公開しているので、供給された電気がどのように発電されたのかもわかります。今年4月には、自然エネルギー100%を達成しました【図①】。「生活クラブでんき」の料金は切り替えても高くならないように関西電力の基本設定と同じです。使用電力が少ないほど単価が安く、省エネを推奨する家庭にやさしい設定です【図②】。



## 「つかう」仲間を増やして 自然エネルギーの安定供給と仕組みを充実させよう!

### あらたな契約目標

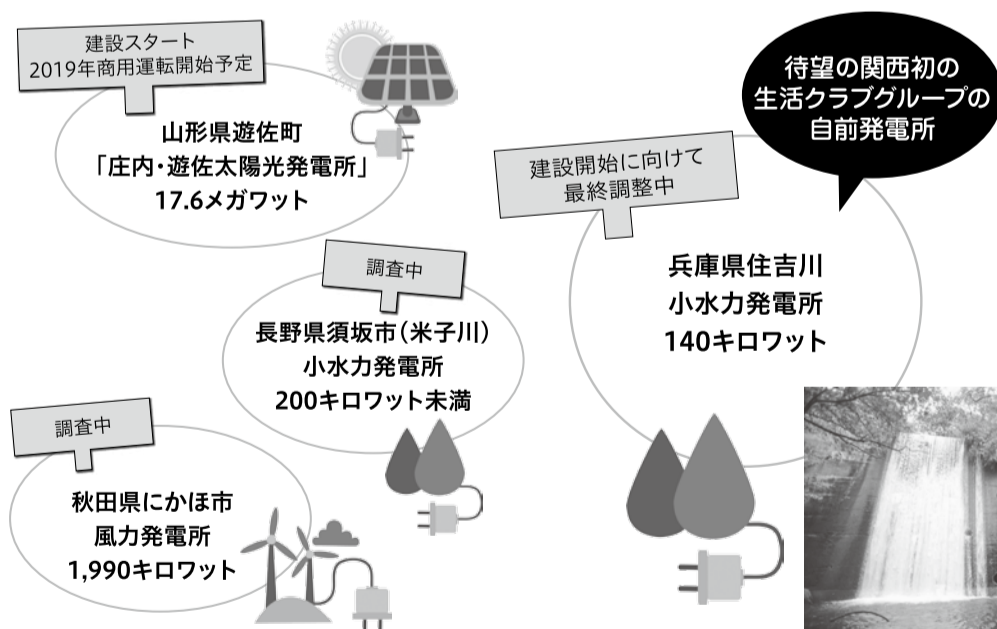
- ・2017年度の生活クラブグループ全体の新規契約目標は5,447件で、総契約件数を14,320件とします。
- ・そのうち、エスコープ大阪では新たに187件の「つかう」仲間を増やし、総契約件数562件をめざします。

2016年10月より「生活クラブでんき」の供給が始まりました。「株式会社生活クラブエナジー」では自前電源の開発、契約者の拡大などにより、自然エネルギーの安定供給ができます。また新たな料金設定や個人宅で太陽光で発電された電気の買い取りなども検討することができます。



## 関西に生活クラブ自前の自然エネルギーをつくろう!

### 【現在進行中の生活クラブの電源開発】



取水予定地の住吉川第3号砂防堰堤

### あらたな電源開発

生活クラブの自然エネルギー発電所は37カ所（2016年4月時点）ありますが、関西での自前電源はわずかな太陽光発電しかありません。ほとんどをパートナー会社である「株式会社ミツウロコ」の木質バイオマス発電による電気を購入しています【図①】。

そこで、新たな電源開発として、兵庫県六甲山系の住吉川小水力発電所の建設計画をすすめています。川の上流から水を引き込み、下流に置いた水車を回して発電します。発電に使った水はそのまま下流に放水されるため、自然環境に対するの負荷も少なく済みます。計画では、1年間に約64kWhの発電ができ、約300世帯の電気をまかなうことができます。2017年12月の着工をめざしており、来年10月には発電開始となる見込みです。



水車小屋跡  
住吉川には、すでに17世紀はじめ小規模な水車が架けられ、米糠や油粕の油を搾るのに利用されていた。その後、精米や製粉にも利用され、特に酒米精製に不可欠であった。明治末から大正初期の全盛期には80程度の水車場が架けられていたが、今では谷あいに跡を残すのみとなっている。  
東灘区役所

### 住吉川小水力発電所建設スケジュール

#### 2017年 夏頃

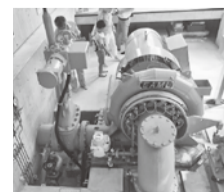
小水力発電事業を担う目的会社(SPC)設立  
「株式会社住吉川自然エネルギー発電」(仮)  
発電所の建設や操業、発電事業全般にわたる中心的な役割を担い、地域との共生環境を育む運営をめざします。

#### 2017年12月頃 着工予定

工期は約10ヵ月。昔の酒米を搗くための水車の水路などを活用し、できるだけ自然環境に変化を生じさせないように配慮して建設します。建設に必要な資金は、生活クラブ連合会の会員生協のほか、「市民ファンド」で個人出資を組合員や地域住民に呼びかけ、地域にひらかれた取り組みにします。

#### 2018年 秋頃 試運転・発電開始予定

小水力発電は、CO<sub>2</sub>をほとんど出さない、循環型社会づくりに役立つ自然エネルギーの発電手段です。私たちのもとに届くのはまだ少し先ですが、届くのが待ち遠しいですね!!



岡山県西栗倉村にある小水力発電所の「めくみ発電機」(2016年8月視察)

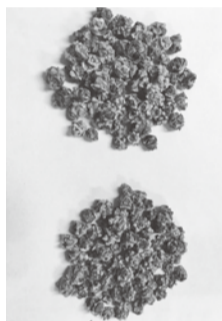
# 私たちの「旬菜セット」はね…

春夏野菜

## 「唐ちしゃ」と「うまい菜」にチャレンジ!

昨年から始まった、「旬菜セット」の充実に向けたチャレンジ取り組みは、今年の春夏野菜では勝間南瓜(こつまんきん)のチャレンジがスタートし「じつぷる」5月号で報告しましたが、今回は「唐ちしゃ」「うまい菜」について報告します。どちらも「ゴールデンウイーク」あたりの端境期でも作れる野菜とのことで、チャレンジを経て、食味など問題なければ端境期対策となる可能性があります。

【播種】5月24日(水)に播種を行いました。それぞれ約1アール(4畝)ずつ栽培します。土には有機質のぼかし肥料チッソ・リン・カリが3対4対1を入れていきます。種は唐ちしゃも「うまい菜」もほとんど同じ形に入ります。この種を種まき機に入れて直まきしていきます(写真①)。畝の上をまっすくに押し



【写真①】上が唐ちしゃ、下がうまい菜

きます。機械が土も被せてくれるので、撒いている感覚がなくて不



写真②

安…。

【発芽・間引き】1週間後(6月7日(水))の間引き作業にお邪魔しました。まずは

【唐ちしゃ供給】6/26週に唐ちしゃが旬菜セットに400束供給されました。間引いた後は追肥の必要がなく、そのまま収穫したそうです。形はほうれん草や小松菜に似ていて、色はしろ菜に似て

【うまい菜作業】うまい菜の葉は大きいもので手のひらぐらいに成長していましたが、全体的にまだ小さく収穫時期ではないとのこと。こちらも虫はついていないのですが、葉に少し薄い黄色のまだら模様が入っているものもあり、今後の成長が少し心配です。雑草に埋もれていたのが、草をかきやりました。ハウス内は暑く、汗だくになりましたが、中村さんは「この時間は昼寝の時間。作業は朝早くにするよ」と。ですよね、でも作業は同じ。またまた大

怪しい天候を気にしながらも、予定通り茶摘み体験をスタート。普段は機械で刈るそうですが、手摘みで体験をさせていただきました。摘みながらお話しする中で、「お茶は虫がつきやすく、初めに無農薬のお茶づくりを持ちかけられたときはとても戸惑った」と伺いました。参加者からは「生協との取

り組みがきっかけで無農薬のお茶をつくるようになったと聞き、当時関わられた組合員や中井さんに感謝、「年中お茶は愛飲しているが、こんなまろやかなお茶を飲んだのは初めて!」「中井さんのおもてなしの心が伝わってきて良かった」という感想や、「毎年来たい!」と大喜びの声もありました。



摘んだ新茶の茶葉を持ち帰って天ぷらにしたり製茶してみたりと、参加者それぞれ楽しんだと思います。私は中井さんの教え通り、摘んだ葉を冷蔵して発酵を止め、なるべく早く蒸し、揉みながら乾かす簡単な製茶を試みたところ、幼い娘にも驚くほど好評で「なにこれ!? 美味しい! おかわりある? まだまだある!」とすごく迫られました。

薄曇りで絶好の収穫日和の中、収穫スタート。茎を引き抜くと、大小さまざまじゃがいもがゴロゴロと出てきました。みんなで宝探しのようにじゃがいもを掘り当てては、歓喜の声を上げました。

田中さんが熱い思いで野菜作りをされていることがすごく伝わってきました。



【生活と自治】には興味深いテーマが多いので、一人で読むより誰かと意見交換をしながら読みたいと思ひ、南河内地域委員会メンバー5名で読み合わせを始め、もっとたくさんの人と意見交換ができればと、サークル活動をスタートしました。



【生活と自治】の編集委員として会議に参加する予定なので、サークルにも組合員活動にも、より深い情報をつけていければと考えているそうです。

「菜食ファーム」の新メンバー、田中丈悦さんの畑に、組合員5家族とじゃがいも掘りに行って来ました。店舗から車で走るこ



してフライドポテトにするのが田中さんのおすすめだと伺いました。

試食の後は交流会。田中さんは、もともとお米作りをされているが、「地域を活性化するためにも耕作放棄地を回復させたい」と、1年半ほど前から有機農業での野菜作りに取り組んでいるとのこと。昨年の秋頃から「菜食ファーム」のメンバーとなりエスコープ大阪への出荷を始めています。まだ駆け出しという

【生活と自治】は生活クラブ連合会が「協同組合による生活者の新聞」として発行している、エスコープ大阪では希望者(店舗組合員を除く)が毎月100円で購読できます。サークルはNPO法人「ワーカーズ・コレクティブ」は「Hand Cafe」で運営する「Hand Cafe」

から大盛り上がり。気になる記事を順番に読んで読み、記事ごとに意見交換をします。この日最初の記事は「便利な社会の裏側に…」。

南河内地域  
中井製茶訪問交流  
5月24日(水)  
京都府相楽郡和束町  
南河内地域理事 梶川 愛

私たちが飲みたいお茶を作ってくれる中井さんを訪ねました

店舗地域  
菜食ファーム  
じゃがいも収穫交流  
6月18日(日)  
堺市南区畑町  
店舗地域理事 齊藤 真由美

「菜食ファーム」の新メンバーの野菜作り地域活性への思い

市民活動を応援!  
サークル紹介  
「生活と自治」  
読み合わせサークル  
(代表:大崎宏子さん)





## 第1回 理事会報告 <6月6日>

### 【決議事項】

- ①理事長、専務理事及び常務理事の選出について。
- ②代表理事の選定について。



## 第2回 理事会報告 <6月9日>

### 【5月度決算報告】

- 供給高 1億8434万円(前年同月比94.69%)
- 組合員数 18,691名(前月比104)
- 一人あたりの出資金 80,469円

### 【5月の放射能検査結果】

連合消費材670検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた6月2日検査の生椎茸(JA甘楽富岡)については供給を中止し、他の生産者と入れ替えて供給しました。(生活クラブ消費材ですがエスコープ大阪には供給していません)。エスコープ大阪独自の消費材については3検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

### 【決議事項】

- ①役員人事委員会の設置について。
- ②理事長、専務理事に事故がある場合の常務理事の職務執行順序について。

### 【協議事項】

- ①第51回総代会について。

### お詫びと訂正

『りっぷる』171号3面に掲載しました活動報告「店舗地域(榎豆伍心訪問)」において、一部報告内容に誤りがありました。報告の中では、『うすあげ』の揚げ油はすべて生活クラブの『なたね油』(米澤精油)を使用しているとありましたが、正しくは生活クラブの『なたね油』と同じオーストラリア産のNON-GMナタネが原料の油を使用しています。事実と異なった報告をしておりました。お詫びして訂正いたします。

# 脱原発だけじゃない 「生活クラブでんき」



## 私たちの エネルギーを考える!



### 温室効果ガスのCO<sub>2</sub>削減で 持続可能な社会へ

地球温暖化対策の枠組みである「国連気候変動枠組条約・パリ協定」からアメリカが離脱することに対し、国際的な非難の声が出ています。

私たち生活クラブグループは持続可能な社会を目指す方針のもと、CO<sub>2</sub>の排出削減を長年続けています。その具体的な削減方法としては皆さんにもなじみの深い「グリーンシステム」によるRびんの使用、ピックアップ袋や牛乳キャップなどのプラスチックのリサイクルがあげられます。また「生協事業の省エネ」として、事業所照明のLED化や冷蔵・冷凍庫設備などの省エネ設備への入れ替えなどを生活クラブグループ全体ですすめています。そして、2015年度よりすすめている「生活クラブ総合エネルギー政策」もその一環です。私たちは電気の消費量を減らし、再生可能なエネルギーをつくり、そしてつくり出した電気の共同購入を始めました。

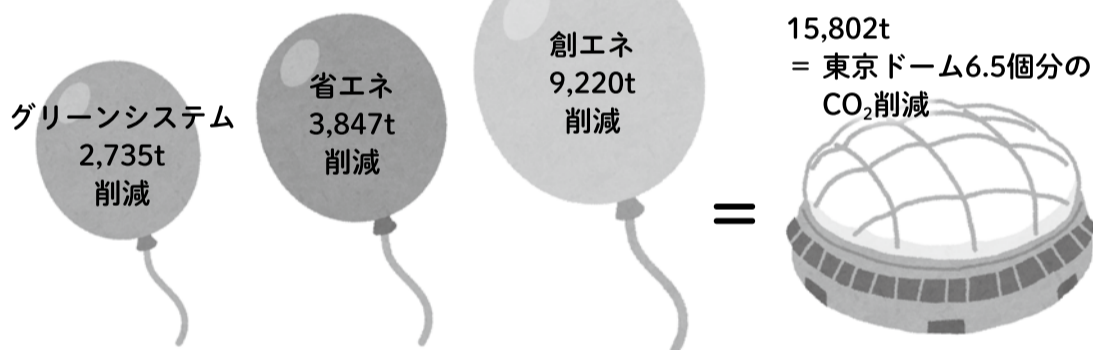
### 「生活クラブでんき」で 確実にCO<sub>2</sub>排出量の削減を すすめていきます

2016年度の生活クラブグループのCO<sub>2</sub>排出削減実績がまとめられ

ました。それによると「グリーンシステム」ではジャンボシート13機分に当たる4千597トンのCO<sub>2</sub>の排出量を減らし、2千735トンのCO<sub>2</sub>の排出削減ができました。「生協事業の省エネ」では基準年(2007年)比較で87%まで省エネがすすみ、3千847トンのCO<sub>2</sub>排出削減効果がありました。そして「生活クラブ総合エネルギー政策」で取り組んでいる「創エネ」には生活クラブグループ全体で積極的に取り組み、自然エネルギー発電所を多数建設してきました。2016年度、生活クラブグループで発電した再生可能な自然エネルギーは2千180万kWhとなり、平均的な家庭300kWh/月(6世帯が1年間に使用する量に相当します)のCO<sub>2</sub>の排出削減量は9千220トンとなりました。これら生活クラブグループとしての取り組みを合計すると、2016年度のCO<sub>2</sub>の排出削減量は1万5千802トン(東京ドーム6.5個分)となりました。ほとんどが化石燃料由来の電気を供給する「関西電力」から「生活クラブでんき」に切り替えて、自然エネルギーをつかうことで確実にCO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。現在、関西電力エリアの「生活クラブでんき」の再生可能エネルギー比率はほぼ100%です。私たち組合員一人ひとりが、生協事業を利

用し続けることが、2050年までに80%のCO<sub>2</sub>排出削減を目指し、持続できる地球環境を維持するという目標を掲げたパリ協定の取り組みにもつながることはうれしい限りです。

### 生活クラブ連合会の2016年度CO<sub>2</sub>排出削減量



## おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

173号4面「私たちのエネルギーを考える! 老朽化原発の再稼働を考える」を読んで

紙面モニター Aさん

「関西電力」は高浜原発の再稼働によって電気代を下げることができると言っているが、これは老朽化に目をつぶり、何の対策もせず稼働させることにより、できることなだと知りました。あまりにも国民をバカにしたやり方ではありませんか。強い憤りを覚えます。

173号表紙「地域の人が出会い、つながる場」を読んで

紙面モニター Bさん

「Handカフェ」でいろいろな人がつながれるのはとてもステキですね!! そんな温かい場所があることがうれしいです。これからも人の心に灯をともし場所であり続けてほしいです。

## Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き  
175号(2017.7.24)

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

### 編集後記

取材で「菜食ファーム」の生産者を訪問して、作業を手伝っていると、草引きなどちょっとした作業でもいちいち「大変やな〜」と心の中で呟いてしまいます。少し手伝っただけで次の日足腰が痛みます。除草剤を使わないことがこんなに大変なのかと体感すると、わが家に届くいつも元気な新鮮な「旬菜セット」の野菜たちにもますますありがたみを感じます。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/